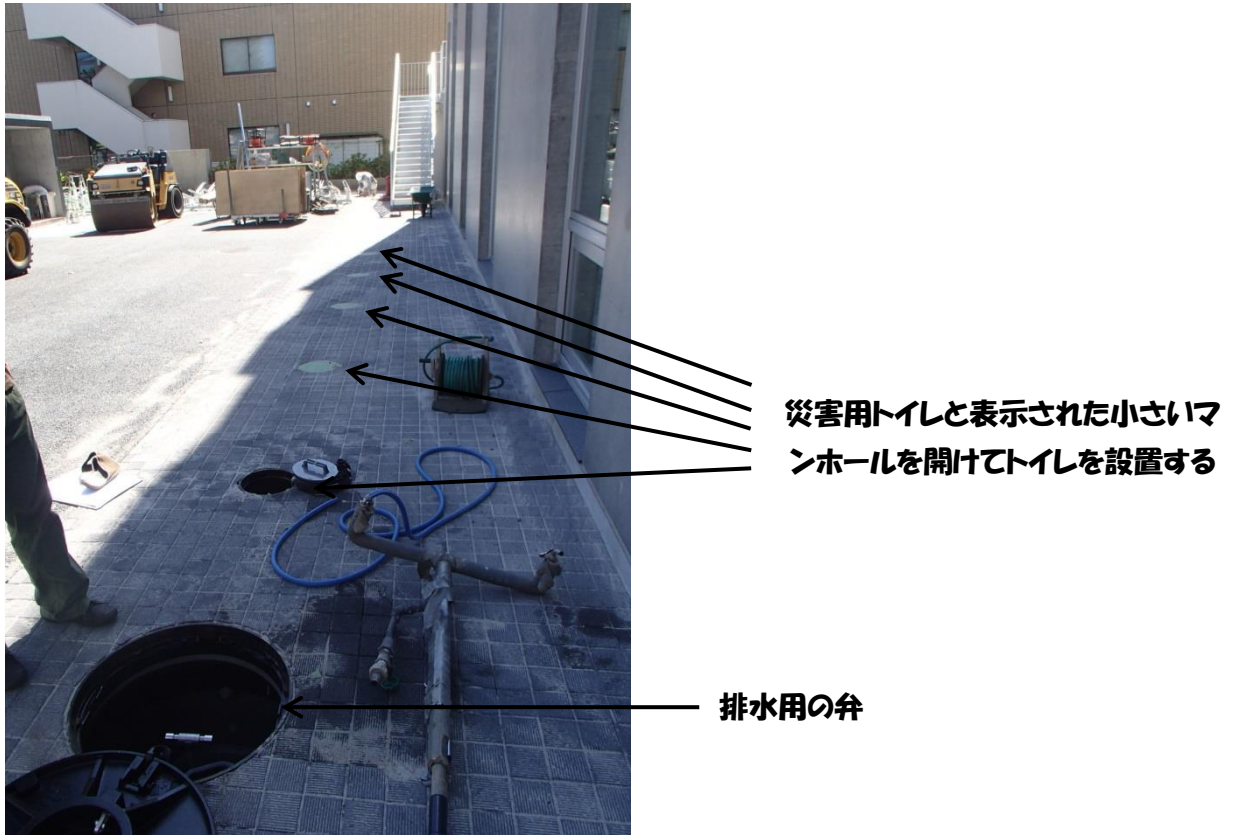


## マンホールトイレ設営の流れ

### ① 配置

便座用の小さな鉄蓋10コ(小学校は8コ)と排水用の大きな鉄蓋がある。



### ② 水を張る

フールや防火水槽から水を持ってきて、小さなマンホール穴(どこでもよい)から注水する。  
10基分で約800L 必要。

水の運搬には備蓄品の手押しポンプや、折りたたみポリ容器での運搬を想定している。

※水を張る前に使ってはいけない。

### ③ 簡易便座・テントを組み立てる

各校には簡易便座洋式が9基(小学校は7基)、和式が1基備蓄されている。

また、目隠し用のテントが10基(小学校は8基、それぞれ1基ずつ車いす用の大テントがある)備蓄されている。

### 手順

- 便座・テントを取扱説明書に従い、それぞれ組み立てる。
- 鉄蓋(小)を開け、マンホール口から鉄蓋部分を取り外す。
- マンホール口に簡易便座を設置する。実運用時は便座がずれないように、台座を付属金具で固定する。

※ビニール製のスリーブを確実にマンホール内に差し込む。

- テントを設置する。実運用時は風などであおられないよう、テントを付属のフック等で固定する。



マンホール口から鉄蓋を外す。



設置中。スリーブを確実にマンホール口に差し込む。

完成イメージ



#### ④ 排水



排水用の弁を上げて排水をする。蓋の構造が2段階になっているので、下の写真のように小さい方だけ開けて水を流すことも可能。

※排水の目安は1日1回。排水したらまた②のように水を張る